

平成 20 年 9 月 22 日  
日興コーディアル証券株式会社

## 日興コーディアル証券 2008 年 秋季部店長会議 渡邊英二(取締役社長)発言要旨

### 〈基本方針〉

- ・ この環境を攻めの姿勢で果敢にリードするとともに、「お客様のことを一番よく知り、お客様の期待に最も応えられる企業」を目指す
- ・ 現在、日本の GDP に占める金融業界の比率は僅か 7%弱だが、世界に冠たる 1500 兆円の個人金融資産を考えれば、証券界躍進の潜在余地は非常に大きく、また我々の活躍が日本経済の活性化にも繋がる。我々はそのような使命に基づき、高い志と自負をもって臨み、1500 兆円の個人金融資産への貢献を通じて「貯蓄から投資へ」の流れの一翼を担う。

### 〈今後の方向性〉

- ・ シティという世界最大の金融グループを強みに、日興のオリジナルを融合させて、日本の金融業界においてユニークで強力な存在となり、日本一を目指す。

### 具体策

- ・ 日興シティグループ証券との連携強化も含め、良質の商品を供給する。
- ・ 「ホールセールとリテール」、「商品部門と営業部門」それぞれの両輪体制の大切さを再確認する。
- ・ 「お客様とのより強固なりレーションシップ」の構築に向けて、お客様をとことん考える 3 つの委員会を設置する。

#### (3 つの委員会)

##### 1. お客様分析委員会

既存のお客様のことを考え最適な対応を検討し、信頼関係の強化や関係の再構築を図る。

##### 2. お客様開発委員会

富裕層開拓を目的に富裕層のタイプやニーズに合わせた接点の構築方法を開発・実践する。

##### 3. 若手社員育成強化委員会

若手社員のコンサルティング能力のレベルアップがお客様対応力向上の鍵であり、抜本的に検討する。

以上、それぞれを個人の技や、努力のみに依存するのではなく、組織としての技に昇華させていく。

当社は、「お客様のことを一番よく知っていて、お客様の期待に最も応えられる企業」でありたいと考えている。そのためのひとつは、「わかり易さ」であり、組織、体制、商品など「わかり易い」ということを重視する。また「拠点を軸に」という考え方をもち、マーケティングの先端として地域に密着した部店の役割を期待している。

以上

【ご参考:日興コーディアル証券 2008年 秋季部店長会議発言要旨】

ダグラス・エル・ピーターソン 日興シティホールディングス株式会社 代表取締役会長 兼 社長

〈シティグローバルについて〉

3月の部店長会議以降、金融市場は劇的な変化を迎えた。シティは、新しいCEOの下、以下の通り経営戦略や組織を変更した。

- ・ シティのバランスシートを強化し、現在および将来のシティのための強固な資本基盤を確立した。過去10ヶ月にわたり、Tier1 適格資本を約500億ドル調達した。
- ・ シティが効率的に機能し、組織的に成長するためのユニバーサル・バンキング・モデルに基づきグローバル戦略を新しく設定した。
- ・ 地域に重点を置いた組織再編を行ない、お客様に近いところで意思決定を行う体制を明確にした。

〈日本におけるシティについて〉

統合プロセス

日本におけるシティには引き続き、我々が有する能力、人材、そしてブランドを活用するすばらしい機会があり、卓越した総合的なユニバーサル・バンキング金融グループを構築していく。

- ・ 株式会社日興コーディアルグループとシティグループ・ジャパン・ホールディングスを統合し、5月1日に日興シティホールディングスが発足した。
- ・ シティバンク証券と日興コーディアル証券と統合し、金融商品仲介業ビジネスを日興コーディアル証券に移管した。
- ・ 日興シティグループ証券に法人本部を新設し、証券ビジネスの統合計画の一環として日興コーディアル証券から法人営業社員を異動した。

コミュニティ、ダイバーシティ、コーポレート・シチズンシップ

我々は、これらの取組みにおいて協働のための新たな方法を開始した。

- ・ たとえば、昨年11月に行ったグローバル・コミュニティ・デー\*には、シティと日興から1,000人以上の社員がボランティア活動を行い、日本中の地域社会に貢献した。また、最近では小学生の夏休みを利用した金融教育である日興「家族でワクワク体験 DAY\*\*」を全国で日興コーディアル証券とシティバンク銀行が協働して開催した。

我々の優先事項

- ・ お客様は、現在の混乱した市場の中で、これまで以上に私達の情報とアドバイスを求めている。私達は常に、お客様にとってベストなことを行うことを忘れてはならない。
- ・ 社員同士は、常日頃以上にコミュニケーションをとる必要がある。ただし、資本の強固さやグローバル戦略について伝えるだけではなく、聞いてあげること。彼らのアイデアや興味や意識の中心について耳を傾けること。そうすることで力強いチームを作ることができる。
- ・ 将来の成功のためには、私達は成長していく必要があり、また効率的でなくてはいけない。私たちの将来は資源をいかに最善の方法で活用するかにかかっている。将来を見据え、最高のビジネスを築いていく。

日興とシティが団結することで、私達はよりよい、そしてより効率的なビジネスを創り、そして、最も重要なことに、社員が働きたいという意欲を持ち、お客様が私たちと取引をしたいと思う企業を創るための、素晴らしい機会を有している。私は、皆でよりよい企業になる方法を探求することに挑戦していきたいと思っている。最終的には、お客様の成功が私たちの成功を決めることを忘れないでほしい。

\*「グローバル・コミュニティ・デー」;シティがビジネスを展開する世界100カ国の拠点で、社員及びその家族が日ごろ仕事をし、生活する地域に貢献するためボランティア活動に従事する一日

\*\*「日興 家族でワクワク体験 DAY」;小学生とその家族が日興コーディアル証券の支店を訪れ、経済、お金の流れ、金融機関の社会的役割などを体験学習するもの